

認定番号：75 サポーター名：エヌエスティグローバルリスト株式会社

▶実施内容の分類：(1) 企業等のWebページ、SNS、広報誌、ポスター等への情報掲載

## 取組実績

1. 関係者との打合せや訪問の機会に、流域治水の考え方や流域治水オフィシャルサポーターとしての取組について紹介し、周知を行った。
2. 自社ホームページにおいて、流域治水におけるIoT活用の必要性や当社の取組内容を掲載し、情報発信を行った。
3. 流域治水オフィシャルサポーター交流会において、取組内容を紹介するためのポスターを作製し、流域治水におけるIoT活用の必要性や当社の取組内容・実証実験に関する情報を発信した。

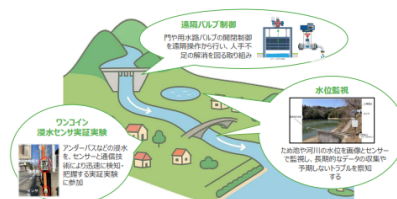
### “つながり続ける”を地域で 多様な通信×IoTが後押しする流域治水

#### ・流域治水に、なぜIoTが必要なのか

- 人手不足の深刻化**  
専門人材の確保が困難だが、遠隔監視であれば人的リソースの効率的活用が可能。
- リアルタイムの欠如**  
計測データのリアルタイム欠如により迅速な判断・対応が困難だが、即時データで迅速な対応可能。
- 緊急対応の遅れ**  
遠隔では現地の様子が見えにくいため対応が遅延してしまうが、遠隔監視で現地状況を把握可能。

#### データに基づく防災が、命と暮らしを守る

#### ・エスティグローバルリストが進める活動/実証実験



市街地では携帯電話網などのデータ通信環境が整っていますが、日本国土の70%を占める中山間部などは「データ通信空白エリア」が多く存在します。当社では、LPWA×従来通信(固定回線、LTE回線、衛星通信)の組み合わせでこれを解決しています。

#### ・これからの活動

エスティグローバルリスト株式会社は、データ通信技術/ノウハウを活用し、今後も流域治水オフィシャルサポーターとして、実証実験や技術展開を進めていきます。